

閉鎖病棟—それぞれの朝—

観賞日 2023年11月27日 上映時間 117分

【概要】

制作 2019年

監督・脚本 平山秀幸

原作 帚木蓬生 『閉鎖病棟』

音楽 安川午朗

撮影 柴崎幸三

出演 笑福亭鶴瓶（梶木秀丸）、綾野剛（チュウさん）、小松菜奈（島崎由紀）
坂本龍汰（丸井昭八）、渋川清彦（重宗）、小林聡美（井波）



【あらすじ】

長野県小諸市にある六王子病院。ここは、特別な事情を抱え居場所をなくした人々を収容する閉鎖病棟。梶木秀丸は母親と妻を殺した罪で死刑を執行されたが絶命できずに特例措置で入院した患者で院内では陶芸をしている。チュウさんこと塚本中弥は時折、幻聴の発作に見舞われるため任意で入院したサラリーマン。院内では比較的軽症だ。ある日、そこに18歳の女子高生島崎由紀が入院してくる。入院当日、妊娠を知らされた由紀は絶望して屋上から身を投げるが救命される。由紀は義父に性的暴行を度々受け不登校になっていた。3人に知的障害を持つカメラ小僧の昭八を加えた4人は外出許可をとり久しぶりに町に繰り出す。やがて、由紀が院内一の乱暴者で皆から嫌われている重宗に乱暴されたという忌まわしい事実が判明する。それを聞いた秀丸は単身、重宗を襲い刺殺する。死刑囚が再び殺人を犯したという前代未聞の裁判。弁護士も困惑して客観情勢は被告人不利のなか、秀丸を救おうと立ち上がったのは……。絶望した秀丸に再び立ち上がる勇気を与えたものは……。

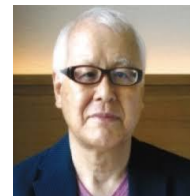
非日常の世界で繰り広げられる哀しくも美しい人間ドラマ。精神科医でもある作家、帚木蓬生のベストセラー小説の映画化。絶望と再生の物語。

【解説】

■ポイント

●原作者・帚木蓬生（1947年～）

福岡県小郡市出身。東京大学文学部卒業後、TBS勤務。2年後に退職して九州大学医学部を卒業。「三たびの海峡」（1992年）で吉川英治文学新人賞、本作（1995年）で山本周五郎賞、「逃亡」（1997年）で柴田錬三郎賞、「水神」（2010年）で新田次郎文学賞などを受賞。2005年からは精神科・心療内科を開業、開業医の傍ら執筆活動を続けている。



●受賞（2020年第43回日本アカデミー賞）

11部門にノミネートされたが受賞無し

■見どころ

●居場所を失った3人が見つけたそれぞれの朝

チュウさん、由紀。そして秀丸の朝は。

●精神病院の内側の人間と外側の人間、狂気は。